

令和元年7月28日
今週のベストショット



雁レク9 奈多フェニックス 対 ブルーマーリンズ

二回裏、満塁から走者一掃の逆転タイムリー三塁打を放ったブルーマーリンズ三番尾田選手。

写真：三友クラブ 大坪 和則

青松園B ライナーズ接戦を制す！

雁の巣ライナーズ（2勝4敗） 1 1 2 0 0 7 1 1 有馬○ー鳥越

三苦フレンズ（5勝1敗1分） 2 0 3 0 0 0 5 生野（拓）●ー佐藤（由）

HR：正内（雁の巣） 3BH：今林（美）（雁の巣）

2BH：中口、今林（颯）（雁の巣） 佐藤（由）、松尾（三苦フ） 盗塁：吉村（雄）3、松尾（三苦フ）

雨で2週間流れ両チーム久しぶりの試合。初回ライナーズは一死から二番今林（颯）の四球を足掛かりに相手失策、死球で二死満塁とし、六番久保田（哲）選手のショート内野安打で幸先よく1点を先制。しかしチャンスが続くもフレンズ佐藤（由）捕手の二塁走者捕殺により1点止まり。一回裏フレンズもライナーズ有馬投手の立ち上がりを攻め、失策で出塁した吉村（雄）選手の二、三盗と四球でチャンスを作ると、三番、四番の連続犠飛で逆転に成功。二回表ライナーズは、久保田（美）選手のレフトオーバーの三塁打で同点とすると、三回表には中口選手の二塁打、若き主砲・四番正内選手の2ランで再逆転。しかし三回裏フレンズは、四球と相手失策で一、二塁とすると、二番松尾選手のセンター前タイムリー、生野（拓）選手の犠飛、更に失策も絡みこの回3点で再々

逆転。ここからは両チーム走者を出すも得点を加えることができず、時間も迫る中1点差のままフレンズ勝利かと思われた。しかし六回表、ライナーズは相手投手の制球難に失策を絡めて、この回2安打で7得点を挙げる。最後は有馬投手がきっちりと抑えてライナーズの勝利となった。

(記事：塩浜ジャガーズ 水流 隆広、写真：小金丸 賢二)



フレンズ先発の生野投手。



あたった！鳥越選手。



ライナーズ先発の有馬投手。



本日3盗塁、フレンズ吉村選手。



二回表、三塁打を放ったライナーズ久保田（美）選手。



ライナーズ四番正内選手の本塁打。



あああ…落としちゃった。



4点目のホームを踏んだ吉村選手。



5点目のホームイン、松尾選手。



同点のホームイン、久保田（美）選手。



8点目のホームイン、鳥越選手。



ショートエラー！



試合後、両監督握手。

青松園A シーソーゲームは好ゲーム！！

三苦三球会（4勝3敗）3 0 0 0 0 2 1 6 吉留●－藤沢、半田

奈多クラブ（5勝2敗）0 0 4 0 1 0 2 × 7 吉田○－安河内

HR：藤沢2（三球会）盗塁：大津（三球会）

一回表三苦三球会は、二死から三番大津選手がセンター前ヒットで出塁し、すかさず盗塁を試みる。相手守備の乱れもあり三塁まで進塁。続く四番半田選手のレフト前ヒット、さらに五番藤沢選手のライトへの特大2ランで3点を先制する。奈多クラブ先発の吉田投手は初回到先制こそされたものの、以降五回まで三球会下位打線をヒット1本に抑えるナイスピッチングを披露。一方反撃に出たい奈多クラブは、二回まで三球会先発の吉留投手に完璧に抑えられていた。しかし三回裏、奈多クラブの「いぶし銀」コンビ今林（常）、今林（辰）選手が四球で出塁すると、反撃ムードが一気に高まる。二死ながら満塁として三番江藤選手の打球は右中間へ。これに三球会渡辺右翼手が果敢にダイビングするも惜しくもキャッチできず2点を返上。続く四番上野選手はレフト前タイムリーを放ち逆転に成功。さらに五回裏にも本日3点を叩き出した四番上野選手の三塁打で追加点を挙げ、逃げ切りを図る・・・。反撃したい三球会は、六回表に二番松尾選手が相手エラーで出塁するも、中々塁を進めることが出来ず嫌な雰囲気。しかし五番藤沢選手が、ライトへ嫌な流れを吹き飛ばす本日2本目の2ランを放ち同点とする。最終七回、先手をとったのは三球会。七番渡辺選手が四球、八番上山選手がレフト前ヒットを放ち一二塁とすると、一番船橋選手が勝ち越しのライト前タイムリーを放ち優位に立つ。しかし勝利の女神は三球会には微笑まなかった。その裏、奈多クラブは一番今林（裕）選手の四球、二番今林（賢）選手のレフト前ヒットで逆転のチャンスを作ると、四番上野選手がヒットで同点に。さらに五番安河内選手のヒットで満塁としてサヨナラのお膳立て。ここで満を持して六番木伏選手が見事なセンター前サヨナラ打で試合を決めた。

（記事：新町ウインズ 大久保 浩、写真：早田 主大）



奈多クラブ先発の吉田選手。



一回表、2ランHRを放った三球会藤沢選手。



先発した三球会吉留選手。



高めのボールに手を出した今林（賢）選手。



インコースの難しい球をさばく奈多クラブ吉田選手。



ボールを見極める今林（常）選手。



新加入の奈多クラブ江藤選手。



猛打賞の奈多クラブ上野選手。



この試合2本目となる2ランを放った藤澤選手。



サヨナラヒットを放った奈多クラブ木伏選手。

雁レク9 投打が奮闘し、ブルーマーリンズが初勝利！

奈多フェニックス（2勝3敗1分） 3 2 0 1 1 7 太田●ー実延

ブルーマーリンズ（1勝6敗） 2 7 0 0 X 9 横山○ー井上

3BH：尾田（翔）、糸井（ブルー） 2BH：井上（陽）（ブルー） 盗塁：香山（奈多フ）

夏らしい日差しの中、先発は奈多フェニックス太田投手、ブルーマーリンズは横山（祥）投手で試合は始まった。初回、マーリンズ横山（祥）投手は球が定まらず、三四球で一死満塁のチャンスで、フェニックス五番安藤選手のショート横を抜けるセンター前ヒットで1点を先制！その後、満塁での死球、内野ゴロの間で走者が返り、フェ

ニックスは初回到3点を先制した。その裏ブルーマーリンズは、一番井上(紘)選手がセーフティバントで出塁すると、二番末松選手の送りバントが内野安打となる。一死二三塁となったところで、四番糸井選手がショート頭上をライナーで越えるレフト前タイムリーヒットで2点を返す。二回表フェニックスは、四死球と二番山本選手のレフト前ヒットで無死満塁とすると、横山投手の2つの暴投で2点を追加。二回裏ブルーマーリンズは九番横山(祥)選手がチョココンとレフト前ヒットで出塁すると、一番井上(紘)選手もレフト前ヒット。ここで二番末松選手が送りバントの構えから鮮やかにバスターでセンター前ヒットを決め、無死満塁とチャンスを広げる。ここで先ほどの打席ではライトフライに打ち取られていた三番尾田(翔)選手が右中間への走者一掃の三塁打で3点を追加。続く四番糸井選手も右中間へ三塁打で更に1点追加！一死後、六番井上(広)選手が放ったセンターフライでタッチアップなるかと思われたが、センターがこれをポロリ、1点追加。ここからブルーマーリンズは更に太田投手を攻め、打者一巡となる四連続ヒットで、この回一挙7点を挙げ5-9と逆転した。フェニックスは四回表に四番実延選手の犠牲フライで1点を追加し、3点差まで追い上げる。そして、五回表フェニックスは疲れで球が定まらなくなってきた横山(祥)選手から三四球を選び、無死満塁とチャンスメイク。一死後、一番今林(英)選手が打席に入る。走者一掃となれば同点だが、ここは横山(祥)投手が踏ん張り、三振に抑える。続く二番山本選手にも期待が集まったがサードフライに倒れゲームセット。ついにブルーマーリンズ今期初勝利となった。終わってみれば、10死四球と球が定まらなかったが、フェニックス打線を3安打に抑え、最後は手が震えながらも逆点を許さなかった横山(祥)投手の気迫と、チャンスで打線がつながったブルーマーリンズ打線がすばらしかった。(記事：三友クラブ 駄原 孝一郎、写真：大坪 和則)



マーリンズ先発横山(祥)投手。



フェニックス先発太田投手。



一回表、タイムリーを放つフェニックス五番安藤選手。



二塁封殺とするフェニックスセカンド今林(孝)選手。



二回表、レフト前ヒットを放つフェニックス二番山本選手。



二回裏、レフト前ヒットを放つBマーリンズ一番井上(紘)選手。



バスターでセンター前ヒットのBマーリンズ末松選手。



走者一掃の三塁打！Bマーリンズ三番尾田(翔)選手。



ライト前ヒットを放つマーリンズ七番井上(陽)選手。



内野安打を放ったマーリンズ八番山本選手。



四回表、センター前ヒットを放つフェニックス三番沖選手。



五回表、何とか得点したいフェニックス一番今林(英)選手。



投げ切った横山投手と何度も球をそらさず受けた井上(陽)捕手。

奈多グラウンド 三苦ホーネッツ完封勝利！

三苦ホーネッツ (7勝) 0 5 0 0 0 5 1 0 川原○ー広木

ソルトベイスターズ (1勝5敗) 0 0 0 0 0 0 0 0 酒井○ー大門

HR：堺(恭)(三苦ホ) 3 BH：今田(三苦ホ) 2 BH：西村(三苦ホ)

盗塁：堺(恭) 2、井手2、矢野、今田(三苦ホ)

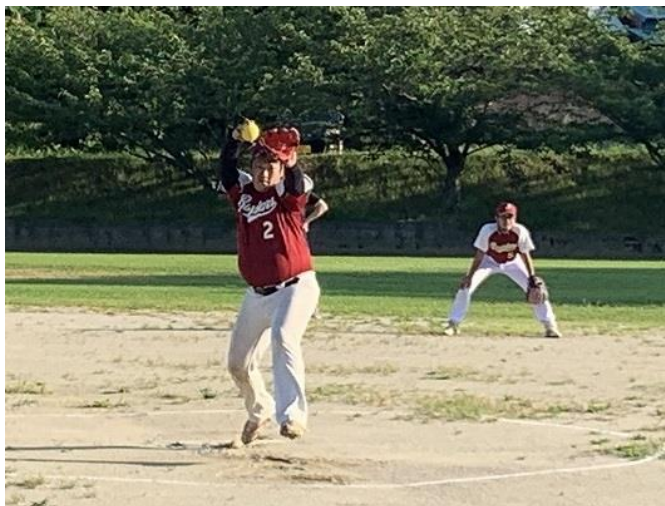
初回、両投手ともに無失点での立ち上がり。ホーネッツ二回表の攻撃、六番西村選手が四球で出塁すると、2つのワイルドピッチで三塁まで進塁し、八番川原選手の犠牲フライで先制！そして続く一番堺(恭)選手のセンターオーバーの3ラン、三番矢野選手のタイムリーヒットで5得点の猛攻。中盤は両投手快投をみせ無失点で抑える。ホーネッツ六回表の攻撃、六番西村選手の二塁打、七番今田選手の三塁打も飛び出し、この一回一挙に5点を追加してソルトベイスターズを突き放す。六回裏ソルトベイスターズは、八番代打の石井選手がチーム初ヒットを放ち、九番中村(健)選手、一番坂本選手も3連続ヒットと続くも最後はセカンドライナーでのダブルプレーでゲームセット。蓋を開けると川原投手は六回無失点9奪三振のピッチング！ソルトベイスターズも最終回に怒涛の追い上げを見せるも、10-0と悔しい結果となった。(記事・写真：和白新町パイレーツ 中島 孝志)



完封勝利のホーネッツ川原選手。



二回表、3ランを放つホーネッツ一番堺(恭)選手。



制球に苦しむソルトベイズターズ酒井投手。



チーム初ヒットの石井選手。



ホーネッツ快勝。



好投の川原選手、本塁打を放った堺（恭）選手。

